

## れきしのおと ～城山公園今昔物語～

過去の記録・記憶をお届けする「れきしのおと」第2号を刊行します。

綴られた歴史に触れ、歴史を感じ、これからの未来に役立つヒントを感じとっていただければ幸いです。第2号では城山公園の現在と過去の比較をしてみます。

綾瀬市には、市民に親しまれている城山公園があります。親しまれている理由の一つは、古くから城山「じょうやま」と呼ばれ、鎌倉武士の渋谷氏の居城という伝承の早川城跡にあたるためです。

早川城跡は、学術研究を目的とした発掘調査を行ったところ、鎌倉時代から室町時代の初期までさかのぼる可能性のある中世城郭であることが明らかとなりました。県内でも、その当時の姿を良好に残す数少ない城郭であることから、その学術的価値も高く評価され、平成20年に神奈川県指定史跡となりました。

### 城山公園空中写真近景



### 北西部の曲輪



柱穴からは火舎（火鉢）が出土しています。発見された柱跡から、見張り小屋などがあったものと想定されます。

### 北西部の曲輪現況



### 北側の掘切と土塁



掘切は、幅が底部で2～2.5m、上端部で11m余、深さは約2.5m、底面から内側土塁の最上部まで最大5mを超え、長さ約100mにわたって延びる大規模なものです。

### 東側斜面の掘切



### 東側の谷部出土かわらけ



東側の谷部からかわらけ（素焼きの皿）が出土しました。

### 東側縁辺部の土塁



土塁はローム層の赤土と黒色土を交互に積み突き固めた版築という構造で築かれています。東側通路脇にも土塁の上端が見られます。

東側縁辺部の土塁現況



南西部の曲輪



南西部の曲輪現況



斜面を削平して平坦部を作り出した現状が現在でもよく見て取れます。

### 物見塚



主郭周囲の土塁と同じ構造で、見張り台であろうとされています。

### 物見塚現況



物見塚には「東郷氏祖先發祥地碑」が建てられていますが、これは日露戦争でロシアのバルチック艦隊を撃破した、海軍元帥の東郷平八郎氏が中世の渋谷一族の流れを汲むことにちなんで建てられたものです。

東郷氏と渋谷氏のつながりを少し調べてみると、渋谷太郎光重の次男、早川二郎実重が九州に移り住み、その地名である東郷を名乗ったのがルーツだと言われています。

### 現在の城山公園入口



城山公園の下には中世の山城が眠っていることを頭の片隅に入れながら、現在の早川城を散策してはいかがでしょうか。

生涯学習課では、綾瀬市の歴史に関する資料を収集し、将来へつないでいく作業を行っています。今回御紹介する城山公園の歴史も収集した資料の一部です。興味のある方は下記までお問合せください。

れきしのおと 第2号 平成27年3月31日

編集・発行 綾瀬市教育委員会 生涯学習課 市史文化財担当 0467-70-5637